



Profile

1982年7月生まれ。福島県三春町出身
2005年東京学芸大学教員養成課程卒
障がい児の放課後クラブ臨時職員
2007年から町田市立町田第三小学校に勤務
世田谷区の小学校で特別支援教室に勤務
2018年に市議会議員初当選
現在、市議会建設常任委員
町田市国保運営協議会委員
三輪町在住。家族は夫と子ども2人
趣味は、読書、キャンプ
消しゴムはんこ、読み聞かせ



「小さな声を集め、市民とともに市政を大きく変える。」——4年前の市議選で掲げ、実践してきたテーマです。

子どもや保護者の強い願いを受けて、「町田市の中学校でも、温かくてみんなで食べられる給食を」という公約実現のために、くり返し議会で中学校全員給食を取り上げ、市民のみなさんのたくさんの声と力を合わせ実現することができました。市民の力はすごいと実感しています。「市民のみなさんと力を合わせれば、もっと町田市をよくすることができる」——この決意を胸に2期目に挑戦します。

町田市議会議員 田中美穂

田中美穂の原点

原発事故で 実家も除染地域に

福島第一原発事故。妊娠中でしたが、里帰り出産をあきらめました。「福島原発は絶対に安全」と教わり、思い込んでいたことにショックを受けました。原発ゼロは、絶対にゆずれない問題です。

町田で教師として働く 多様性を認め合う社会へ

特別支援学級では、個性的で多様な子どもたちと出会いました。「平等とは不平等に扱うこと」——特別な支援があってこそ自分らしい生活をおくれることを学んだ教員時代。子どもが生きていく社会を、多様性やお互いを認め合う社会に変えたい、4年前市政に挑戦する決意をしました。



新しい
町田

発行 新・新しい町田社／日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します。
町田市森野3-7-46 ☎042-723-6312

どんなことでも、お気軽にご意見をお寄せください

お読みください。「しんぶん赤旗」●日刊紙(3497円/月)●日曜版(930円/月)、「東京民報」(400円/月)

町田市議会議員(1期)

田中美穂

たなかみほ

39歳

2児の母

小学校教師10年

小さな声を集め

市民とともに

市政を大きく変える

日本共産党



2022

2/20

市議選

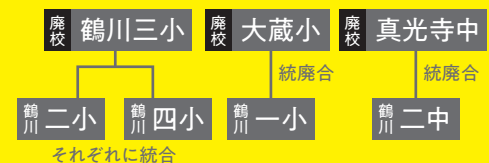
町田市 多摩26市の中で図書館の
蔵書数、図書費が最下位
市民ひとりあたりの蔵書
東京都公立図書館調査より
→にもかかわらず、
さらに、図書館を削減する計画

世代を超えて親しまれている
鶴川図書館
まもろう



東京都内で町田だけ

小中学校 3分の1を廃校!?



他にも、金井小や薬師中も統廃合の対象になっています。

避難所の不足。コミュニティの衰退

今でも長い通学路がさらに長くなる

子ども、保護者、教職員から反対の声

学校統廃合計画は中止、見直しを
少人数学級をすすめよう

鶴川の地下を通るリニアは中止を
野津田公園の自然をまもり、
都市農業や地産地消をすすめる

中学3年生まで、
所得制限を撤廃。
今度は、18歳までの
医療費無料化へ

学校給食費の無償化を

国保税の引き下げと
子どもの均等割をなくす

虐待やいじめ防止
町田に児童相談所を

その人らしく生きられる
パートナーシップ制度を
ジェンダー平等すすめる



都議会議員
池川友一

連携プレーで
全小中学校に
エアコン設置

1期目とは思えない大活躍
の田中市議。避難所にもなる
小中学校体育館へのエアコンは、
市政と都政の連携プレーで全校に
設置されました。田中市議を2期目
の市議会へ。

市議になる前から
ママ友といっしょに
保育料値上げ許せない

2013年に市の保育料値上げが
大問題に。「子育て世帯の負担
増は、結局、しわ寄せは子どもにく
るよね」とママ友といっしょに値上げ
ストップ署名にとりくみました。



第二子を出産
子育て当事者の視点

2020年に第二子を出産。パートナーが育
児休業を取得することで、男性も子育て
の当事者になるために必要なことが多く
と実感。母親が書くことを前提にしている
行政手続きや両親学級の改善などを求
めてきました。また、病後児保育の申し込
みで、3枚も同じ書類を書かせていること
を指摘し、改善させました。
子育て世代の願いを市議会に届け、もっ
と子育てしやすい町田に変えていきます。

**仕事と子育てが
両立できる町田に**



理不尽な校則を変える

中学生から「ツーブロック禁止で指導された」
「スラックスも認めてほしい」などの声が寄せ
られ、町田市内の中学校の「校則」を調査。中
学生の声をもとに質問し、「子どもたちが生
徒自身で変えたり、決めたりすることは大事」
と答弁がありました。こうした中で、スラックス
を選択できる学校が増えました。

さらに

子どもの権利条例の制定、包括的性
教育の推進、不登校の子ども居場
所と支援の充実などをすすめます！

**補聴器の
購入費補助を**
都内15自治体で実施

「聞こえず、適当に相槌を打っ
ていることが、時々ある」——高齢
者の2人に1人が加齢性難聴とい
われ、難聴は認知症の原因の一
つとされています。きちんと調整
した補聴器を早期から使うと「き
こえ」が改善し、生活の質も向上
します。しかし、「高くて買えない」
という声が寄せられています。都
の補助を活用し、補聴器の購入
費補助制度をつくりま。

年金で入れる
特養ホームを増やし、
在宅介護も充実します

1千円の次は3千円など
シルバーパスを改善し、
都県境を越えても
利用できるにします

鶴川駅にホームドアと
エスカレーター設置を

URの空き家対策
家賃軽減にとりくみます



誰ひとり取り残さない

**くらしに困ったとき、
頼りになる市役所に**

税金の滞納者に赤い封筒を使っ
て督促するなど、常軌を逸した市
の対応を追及し、改善させまし
た。困ったときにどんな相談でも
受け止め、ともに考え、解決に向
けて動く頼りになる市役所に。滋
賀県野洲市のように「ようこそ滞
納くださいました」と、お困りごと
に親身になる対応が必要です。

田中市議は、ワク
チン予約ができず
に困っていた50
人以上の予約を
手伝ってくれまし
た。とても頼りにな
る議員さんです。



高木稔さん
(鶴川団地在住)

ワクチン予約、助かりました。

あなたの声が、市政を変える力です

